

# 高校生にAIを学ぶ機会を提供するデジタル人材育成プロジェクト やまがたAI部

## やまがたAI部運営コンソーシアム（山形県山形市）

### コンソーシアム概要

会員が相互に連携・協力・行動し、山形の未来を創る人材育成の一環としてのAI教育プログラムである“やまがたAI部”を推進・発展させることを目的として活動している。



県内企業、教育機関、自治体が連携して県内の高校生にAIを学ぶ機会を提供するデジタル人材育成プロジェクト「やまがたAI部」を創設。山形県内だけでなく他県にも広がりを見せ、全国的な取組に発展。

### 取組の背景は？

- ・地方は大都市部と比較しデジタル人材が不足しているほか、デジタル活用も進んでおらずさらなるデジタル格差が進む恐れがある。これは、地域企業においても同様であり、さらには、高校生に地域の産業が知られていないことから若者の県内定着に至らず、デジタル人材の育成・定着に向けた環境も整備されていない状況である。
- ・この中で、高等教育では各種探究活動や情報教育の推進など、デジタル化や若者定着のための施策の実施・推進が必要となっていたことから山形県内高校を対象にAI学習を通じた教育支援活動を展開するため、産学官等の有志が連携し、2020年8月に「やまがたAI部運営コンソーシアム設立準備委員会」を立ち上げ、同年10月に同コンソーシアムの設立に至った。
- ・2024年度は59校・467名の生徒を育成しており、うち39校は県外からの参加となっている。

### 具体的な取組内容は？

- 【年間カリキュラム内容】
- ・**AIプログラミング教育**（講義や実習等の講座を20数回程度）  
オンデマンド・オンラインによる基礎座学からKaggleを用いた実践コース等の一貫したカリキュラムを用意している。
- ・**企業訪問**  
県内のものづくり企業やプロスポーツ団体等を訪問し、現場を体感しながら、AI導入や活用のアイデア提案を行う。
- ・**やまがたAI甲子園**  
やまがたAI部での活動をもとに、設定した課題にAIを活用し成果を競い、発表する場。社会課題に対してAIを用いて解決する方法を各々探究する機会を設けることを目的としている。

### 工夫している点は？

- 【地域のものづくり企業/IT企業と共に活動】
- ・単にAI学習の教材を提供するのではなく、ものづくり企業の社員をコーチとして派遣し、製造現場の課題も理解してもらう仕組みを構築している。
- ・県内企業を中心としたコーチ派遣や企業訪問を取り入れ、高校生の県内企業への関心を高めている。
- 【社会課題／産業／スポーツを題材にした実践的・探究的な活動】
- ・学校単位でそれぞれが解決したい問題を課題として設定し、AIプログラミング教育×探究活動を実施している。